

へいわ
平和

あいさつ

あいさつするには、どんな方法があるか、考えたことをつぎの空白に書いてください。

へいわ
平和

聖書の時代において、「シャローム」という言葉が

あいさつのかわりに用いられていました。日本においては、「こんにちは」、「さようなら」、「こんばんは」

とその時々におうじて使い分けられています。ところが、

聖書の時代のユダヤ人は、ただ「シャローム」だけを

使っていました。この言葉ですべての気持ちを表わしていました。

「シャローム」という言葉は「平和」、「平安」と訳

されますが、戦争のない状態を表わしているのでは

ありません。戦争のさ中にあっても、「シャローム」

が使われます。「シャローム」には、神さまとの結び

つきが含まれています。お互いが神さまと結びつく事によつて共通点を見いだすのです。そして、共通点を見いだした人に対して「シャローム」とあいさつするのです。

「シャローム」は祈りの言葉でもあります。神さまの働きを通して、正義と平和がもたらされるように祈るのです。

いつわりの平和を求める人は戦おうとしません。人と争う事は平和に反する事だと思っているのです。しかし、正義を実現するためには戦わなければなりません。この戦いの中に平和が見いだされるのです。

イエスさまは当時の支配者とぶつかりました。いつわりの平和をゆるす事ができなかったのです。人々が圧迫されている姿を見過ごす事ができなかったのです。律法学者たちの非難を受けながらも、罪人や病人と食事をする時に平和を見いだしたのです。

